



みなかみの里

特別養護老人ホーム

見守り支援システムaams(アムス)を導入しました

aamsをベッドマットの下に敷くことで、ご利用者様の睡眠状態や心拍、呼吸状態など様々なデータを知ることができ、それらはパソコンやタブレットで確認することができます。ご利用者様の急変時など迅速な対応が可能となりました。



どこでもタブレットが使えます！

Wi-Fiの整備に伴い、今まででは使える場所が限られていたタブレットが、これからはどこでも使えるようになりました。これにより記録業務の効率化をはじめ、タブレットでご利用者様とユーチューブを見るなど新たな関わり方もできるようになりました。

今後の取組み

特養では今後大きな問題になるであろう職員不足やご利用者の重度化に対応するため、積極的に介護ロボットの導入を進めています。

今後も aams の増設や更なる見守り機器の導入によって、効率的でスムーズな介護ができるよう取り組んでまいります。

デイサービス

オンライン研修を行いました

コロナ禍においても人材育成の機会をなくさないよう、オンライン研修に参加しています。11月は生活相談員のスキルアップ研修でした。3密を回避して研修に参加し、より良いサービスを提供に向け、職員一人ひとりの成長を促していくたいと思います。



介護記録ソフトを導入

Wi-Fi環境を活用し、日々の記録を介護記録ソフトに移行します。タブレットを使用して記録を入力するため、迅速で綿密な記録ができ、その内容を素早く共有することができます。また、連携が紙ベースからデータベースになるためペーパーレス化にもなっています。適切かつ安全な介護を提供しながら、環境にも優しいものになっています。



最先端介護を目指して ～Wi-Fiを活用した次世代介護へ～

ショートステイ

インカム(Intercom)を導入しました

スマートフォンのインターネット回線を使ったインカム (intercom) を導入しました。

介助時や夜間帯等では、いざという時に手が離せず、他職員を呼ばなければならぬ場面が多くあります。そういう場面でインカムが活躍します。ご利用者にお持ちいただくこともなく、安全に見守りを行いながら他職員を呼ぶことができます。また、他職員をさがす時間を削減でき、業務効率化にもつながっています。職員は「いつでも誰かとつながれる」という「安心感」をもってケアにあたることができます。



スピーディーに、高度な介護の為に！

ノートパソコンも、Wi-Fiの導入で持ち運びが可能となりました。皆様からいただく予約もスムーズに調整・回答できるようになりました。



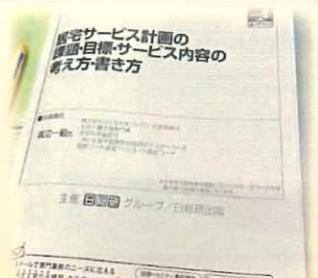
みなかみの里では全館で使用できる「Wi-Fi」を整備しました。これにより、より良い環境でご利用者と関わることができるようになりました。

Wi-Fi

居宅介護支援

コロナ禍における新たな研修スタイル

当事業所は特定事業所加算を算定しており、スキルアップを目的としたケアマネ個々の研修計画の策定と計画的な研修受講が要件となっています。例年、内部研修のほかに外部研修にも参加し、ケアマネジメントの質の向上に努めていますが、今年は新型コロナウィルスの影響により、思うように外部研修に行くことができません。コロナ禍において様々な団体によるオンライン講座が開設されるようになりました。今後はインターネット回線を活用したオンライン研修やオンライン会議の需要がますます高まっていくと言われています。



期間内どこでも・何度でも受講可能！

12月は4月に異動してきた新任ケアマネが、日総研出版による「居宅サービス計画の課題・目標・サービス内容の考え方・書き方」という研修をオンラインで受講しました。期間内何度も視聴でき、繰り返し学習できることにより定着度が高まります。Wi-Fiを活用し館内のどこででも視聴することができ、集中して受講することができます。





おうち時間体操

スクワット：10回



膝がつま先より
前に出ないように
腰を落とします！

体は倒さずに
足を真横に上げます！



A red, heart-shaped character with a smiling face, black antennae, and yellow feet, holding a small flower.

前後足上げ：左右10回×2セット



体は真っすぐに
キープします！



手を胸の前で
組むと、より足の
筋力UPに！

～効果～

太もも・お尻の筋力を上げることで、骨盤が安定してきます。

立ち座りが楽になり、歩く時も足が上がるようになります、つまずきにくくなります！

～ 注意事項～

- ★持病のある方や痛みのある方は無理せず
に行ってください。
- ★ゆっくりと呼吸をしながら行いましょう。
- ★回数は目安です。体調に合わせて行って
ください。

介護者教室 特別版

社会福祉法人 新井頸南福祉会 みなかみの里在宅サービス部門

介護者教室

特別版



特別版 インタビュー

新型コロナウイルス感染予防対策により、令和2年度介護者教室は特別編として紙面開催させていただきます。

在宅で「今」介護に向き合っている介護者の皆様への一助になればと、かつて在宅で介護をされていたご家族の気持ちにスポットを当ててみました。

取材させていただいたのは、妙高市広島在住のご夫婦です。お母様を平成24年から7年間介護されていました。

みなかみの里在宅介護支援センターがケアマネジャーを担当させていただき、みなかみの里のデイサービスとショートステイ、福祉用具を利用しながら在宅介護を続けていらっしゃいました。

介護を終えられた今、当時のお気持ちな

介護を振り返つて、
Q 介護が必要になつた時お義母様はどの
　　ような状態でしたか？
A アルツハイマー型認知症の診断を受け
　　て、物忘れがありました。昔は本当に
　　きつい人だつたんですけれどね。歳を
　　とつたら仏さんみたいになつちゃつて、
　　優しくなつたんです。おばあちゃんが
　　若い頃は、私、苦労したんですね。でも、
　　介護が必要になつてからは本当の親子
　　に間違えられるほど仲がいいねつて言
　　われていました。

お嬢を張つて、
お嬢を振り返つて、
奥様にインタビューさせていただきましたので、ご覧ください。

A に介護ができた理由は？
「一きつい人」たつたお義母様に献身的
自分の親にしてあげられなかつたこと
をしてあげたいと思つていました。そ
れでも、トイレの失敗の始末は切なか
つた。「お母さん大変だ」つて、私を
呼ぶんです。トイレとお風呂の区別が
つかなくて、失敗することもあつて。
切なかつたです。

A Q 介護をされていた当時の思い出のエピソードはありますか？
私が畠仕事で1時間位外にいた時、留守番をしていたおばあちゃんが私のことを探して家の周りを泣きながらグルグル回っていました。私の妹が見つけてくれたんですけど。私を探して泣いているなんてかわいいですね(笑)

お母様が亡くなられて、もうすぐ2年が経ちます。約2年ぶりにお会いしたご家族は、「お母様がお元気だった頃を懐かしそうに思い出し、「今は毎日、お父さんがお経をあげています。」と穏やかにお話されていました。

当時担当していたことを思い出しながら、今のご家族のご様子に心がとてても温かくなりました。

介護支援専門員 柴田 香菜子

インタビューを終えて